

第7編 様式一覧

1 自衛隊災害派遣等要請様式

自衛隊災害派遣及び撤収要請様式
(別紙1) 災害派遣要請書(知事あて)

年 月 日

知 事 あ て

(市町長) 印

自衛隊の災害派遣要請要求について

災害を防除するため、自衛隊法83条に基づく自衛隊の派遣要請を要求します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
災害の状況(特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。)
派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 派遣を希望する区域
 - (2) 派遣を希望する活動内容
 - (3) 連絡場所及び連絡者
- 4 その他参考となすべき事項

年 月 日

陸上自衛隊第33普通科連隊長 様

三重県知事 印

自衛隊の災害派遣要請について

災害を防除するため、自衛隊法83条に基づき自衛隊の派遣を要請します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
災害の状況(特に災害派遣を必要とする区域の状況を明らかにする。)
派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 派遣を希望する区域
 - (2) 派遣を希望する活動内容
 - (3) 連絡場所及び連絡者
- 4 その他参考となすべき事項

年 月 日

知 事 あ て

(市町長) 印

自衛隊の撤収要請要求について

このことについて、自衛隊法第83条の規定により、災害派遣を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収要請を要求します。

記

- 1 撤収要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 2 派遣要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 3 撤収作業場所
撤収作業内容

年 月 日

陸上自衛隊第33普通科連隊長 様

三重県知事 印

自衛隊の撤収要請について

このことについて、自衛隊法第83条の規定により、災害派遣を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収を要請します。

記

- 1 撤収要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 2 派遣要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 3 撤収作業場所
撤収作業内容

2 海上保安庁応急措置等要請様式

海上保安庁応急措置実施要請及び撤収要請様式
(別紙5) 応急措置実施要請書(知事あて)

年 月 日

知 事 あ て

(市町長) 印

海上保安庁の応急措置の実施要請要求について

このことについて、下記のとおり災害対策基本法第70条第3項及び海上保安庁防災業務計画第3章第4節第9関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施要請を要求します。

記

- 1 災害の状況及び応急措置を要請する事由
災害の状況(特に応急措置を必要とする区域の状況を明らかにする。)
応急措置を要請する事由
- 2 応急措置を希望する期間
- 3 応急措置を希望する区域及び活動内容
 - (1) 応急措置を希望する区域
 - (2) 応急措置を希望する活動内容
 - (3) 連絡場所及び連絡者
- 4 その他参考となすべき事項

年 月 日

第四管区海上保安本部長 様

三重県知事 印

海上保安庁の応急措置の実施要請について

このことについて、下記のとおり災害対策基本法第70条第3項及び海上保安庁防災業務計画第3章第4節第9関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施を要請します。

記

- 1 災害の状況及び応急措置を要請する事由
災害の状況(特に応急措置を必要とする区域の状況を明らかにする。)
応急措置を要請する事由
- 2 応急措置を希望する期間
- 3 応急措置を希望する区域及び活動内容
 - (1) 応急措置を希望する区域
 - (2) 応急措置を希望する活動内容
 - (3) 連絡場所及び連絡者
- 4 その他参考となすべき事項

年 月 日

知 事 あ て

(市町長) 印

海上保安庁の応急措置撤収要請要求について

このことについて、災害対策基本法第70条第3項及び海上保安庁防災業務計画第3章第4節第9関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収要請を要求します。

記

- 1 撤収要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 2 応急措置の実施要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 3 撤収作業場所
撤収作業内容

年 月 日

第四管区海上保安本部長 様

三重県知事 印

海上保安庁の応急措置撤収要請について

このことについて、災害対策基本法第70条第3項及び海上保安庁防災業務計画第3章第4節第9関係機関及び地方公共団体の災害応急対策の実施に対する支援に基づき、応急措置の実施を受けましたが、所期の目的を終了しましたから、下記のとおり撤収を要請します。

記

- 1 撤収要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 2 応急措置の実施要請日時
平成 年 月 日 時 分
- 3 撤収作業場所
撤収作業内容

3 災害報告様式

【消防庁指定 第4号様式（その1）】

第4号様式（その1）

（災害概況即報）

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

消防庁受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 報)

災害の概況	発生場所						発生日時	年 月 日 時 分			
被害の状況	人的被害	死者	人	重傷	人	住家被害	全壊	棟	床上浸水	棟	
		不明	人	軽傷	人		半壊	棟	床下浸水	棟	
							一部破損	棟	未分類	棟	
	119番通報の件数										
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況		(都道府県)				(市町村)				
	消防機関等の活動状況		(地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等をわかる範囲で記入すること。)								
	自衛隊派遣要請の状況										
	その他都道府県又は市町村が講じた応急対策										

(注) 第1報については、迅速性を最優先とし可能な限り早く（原則として、覚知後30分以内）分かる範囲で記載して報告すること。（確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨（「未確認」等）を記入して報告すれば足りること。）

(注) 住家被害のうち、その程度が未確定のものについては、「未分類」の欄に計上すること。

【消防庁指定 第4号様式（その2）】

第4号様式（その2）

（被害状況即報）

都道府県		区 分		被 害		区 分		被 害		災 害 等 の 対 設 策 置 本 状 部 況	都 道 府 県 市 町 村
災 害 名 ・ 報 告 番 号	災害名 第 報 (月 日 時現在)	田	流失・埋没	ha		公 立 文 教 施 設	千円				
			冠 水	ha		農 林 水 産 業 施 設	千円				
報 告 者 名		畑	流失・埋没	ha		公 共 土 木 施 設	千円			災 害 等 の 対 設 策 置 本 状 部 況	市 町 村
			冠 水	ha		そ の 他 の 公 共 施 設	千円				
区 分		被 害		文 教 施 設	箇 所	小 計	千円			災 害 等 の 対 設 策 置 本 状 部 況	市 町 村
区 分		被 害		病 院	箇 所	公 共 施 設 被 害 市 町 村 数	団 体				
人 的 被 害	死 者 人	行 方 不 明 者 人	負 傷 者	重 傷 人		農 業 被 害	千円			災 害 救 助 法	計 団 体
				軽 傷 人			林 業 被 害	千円			
住 家 被 害	全 壊	棟 世帯	人	河 川	箇 所	の	水 産 被 害	千円		災 害 救 助 法	計 団 体
								半 壊	棟 世帯		
住 家 被 害	一 部 破 損	棟 世帯	人	砂 防	箇 所	の	そ の 他	千円		災 害 救 助 法	計 団 体
								床 上 浸 水	棟 世帯		
住 家 被 害	床 下 浸 水	棟 世帯	人	崖 く ず れ	箇 所	の	被 害 船 舶 隻	被 害 総 額	千円	119番通報件数	件
								床 下 浸 水	棟 世帯	人	鉄 道 不 通
非 住 家	公 共 建 物	棟	人	火 災 発 生	建 物 件	の	電 話 回 線 戸	ガ ス 戸	ブ ロ ッ ク 塀 等 箇 所	消 防 機 関 等 の 活 動 状 況	自 衛 隊 の 災 害 派 遣
<small>（地元消防本部、消防団、消防防災ヘリコプター、消防組織法第39条に基づく応援消防本部等について、その出動規模、活動状況等を記入すること。）</small>											

※1 被害額は省略することができるものとする。

※2 119番通報の件数は、10件単位で、例えば約10件、30件、50件(50件を超える場合は多数)と記入すること。

(様式A)

被害状況調書

(年 月 日 時 分現在)

市町村名

人的被害	死者		ア	人	
	行方不明		イ	人	
	負傷	重傷	ウ	人	
		軽傷	エ	人	
		小計	オ	人	
計		カ	人		
住家の被害	棟数	全壊、全焼及び流失		キ	棟
		半壊及び半焼		ク	棟
		一部破損		ケ	棟
		床上浸水		コ	棟
		床下浸水		サ	棟
世帯及び人員	全壊、全焼及び流失	世帯	シ	世帯	
		人員	ス	人	
	半壊及び半焼	世帯	セ	世帯	
		人員	ソ	人	
	一部破損	世帯	タ	世帯	
		人員	チ	人	
	床上浸水	世帯	ツ	世帯	
		人員	テ	人	
	床下浸水	世帯	ト	世帯	
		人員	ナ	人	
	報告	発信	月 日 時 分	発信者	
		受信	月 日 時 分	受信者	

(注) 災害救助法によるもの

様式(1)

土木関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 被害状況

事業主体	区 分	被害数	被 害 額 (千円)	備 考
県	河海砂道橋港 りよ	川岸防路う湾		
	計			
市 町	河海砂道橋港 りよ	川岸防路う湾		
	計			
合 計	河海砂道橋港 りよ	川岸防路う湾		
	計			

2. 応急対策その他

農林水産関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 農業関係

事業主体	区 分	単位	被 害 数	被 害 額 (千円)	備 考
計					

- 2. 耕地関係
 - 3. 開拓関係
 - 4. 林業関係
 - 5. 畜産関係
 - 6. 水産関係
- } 農業関係と同じ様式

(記 載 例)

1. 「事業主体」欄は、国、県、市町村、民間の別を記入する。
2. 「区分」欄は
 - (1) 農業関係は、農業用施設、共同利用施設、水稻、陸稻、雑穀、菜種、甘藷、そさい、果樹、茶、桑等に区分する。
 - (2) 耕地関係は、海岸、農業用施設、農地等に区分する。
 - (3) 開拓関係は、(1)の農業関係に準じて区分
 - (4) 林業関係は、山地崩壊、治山施設、林道、林業施設、林産物等に区分し、更に、林業施設については、炭がま、木材、木炭、倉庫、製材施設、貯木場、苗畑、その他に、林産物については、立木、素材、製材、薪炭、原木、木炭、種苗、薪、その他等に区分する。
 - (5) 畜産関係は、畜舎、共同利用施設、乳和牛、豚、山羊、めん羊、にわとり、草地飼料畑、その他に区分する。
 - (6) 水産関係は、漁業用施設、共同利用施設、漁港施設、海岸施設、漁船、漁具、のり養殖施設、漁具藻類等に区分する。

7. 応急対策その他

1. 被害状況

事業主体	区 分	被害数	被 害 額 (千円)	備 考
国	大 学 学 校 中 学 校 小 学 校 幼 稚 園			
県	大 学 学 校 高 等 学 校 盲、ろう学校			
市町村	大 学 学 校 中 学 校 小 学 校 幼 稚 園			
私 立 団 体	大 学 学 校 高 等 学 校 中 学 校 小 学 校 幼 稚 園 そ の 他			
	計			

2. 応急対策その他

様式（４）

民生関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 被害状況

事業主体	区 分	被害数	被 害 額	備 考
	養 老 施 設 授 産 施 設 保 育 所 施 設 宿 所 提 供 施 設 養 護 施 設 母 子 生 活 支 援 施 設 ・ ・ ・		(千円)	
	そ の 他			
計				

2. 応急対策その他

様式（5）

商工関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 被害状況

事業主体	区 分	被害数	被 害 額 (千円)	備 考
	工 業 関 係	工 場 関 係		
		設 備、機 械		
		製 品、半 製 品		
		計		
	商 業 関 係	店 舗		
		商 品		
		計		
		鉱 業 関 係		
		そ の 他		

2. 応急対策その他

様式（6）

観光関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 被害状況

区 分	被害数	被害額	備考
県 営 施 設 関 係 市 町 村 営 施 設 関 係 団 体 関 係 会 社 個 人 関 係		(千円)	
計			

2. 応急対策その他

様式（7）

衛生関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 被害状況

事業主体	区 分	単 位	被 害 数	被 害 額 (千円)	備 考
	計				

(注)

1. 「事業主体」欄は、国、県、市町村、民間の別
2. 「区分」欄は医療機関、上水道関係、簡易水道、火葬場、じん芥焼却場、母子健康センター、伝染病舎等に区分する。

2. 応急対策その他

様式（8）

一般公共施設関係被害状況報告

年 月 日 時現在

1. 被害状況

事業主体	区 分	被害数	被 害 額	備 考
県			(千円)	
市 町 村				
計				

2. 応急対策その他

県庁舎、企業庁、教育局、警察関係

4 災害救助法関係様式

様式1

災害救助費概算額調
(災害名)

伊勢市

種目別区分		員数	単価	金額	備考
I 救助業務に要した経費			円	円	
1	救助費				
(1)	おそれるお段階お避難設置	避難所	延人		
		福祉避難所	延人		
		ホテル・旅館等	延人		
		その他()	延人		
	計	延人			
(2)	避難設置費	避難所	延人		
		福祉避難所	延人		
		ホテル・旅館等	延人		
		その他()	延人		
	計	延人			
(3)	応急仮設住宅設置費	建設型応急住宅	世帯		
		賃貸型応急住宅	世帯		
		応急修理期間中の仮設住宅の使用	世帯		
	計	世帯			
(4)	炊出しその他による食品給与費	延人			
(5)	飲料水供給費				
(6)	被服、寝具、その他生活必需品の給(貸)与費	全壊(焼)流出	世帯		
		半壊(焼)・床上浸水	世帯		
		計	世帯		
(7)	医療及び助産費	医療	延人		
		助産	延人		
	計	延人			
(8)	被災者の救出費	人			
(9)	福祉サービスの提供費				
(10)	住宅の被害拡大を防止する緊急措置費(フェールシート展開)	目刀又はホフナイによる施工	世帯		
		建設団体企業等による施工	世帯		
		計	世帯		
(11)	日常生活に必要な部分の修理費(住宅の応急修理費)	半壊(焼)以上	世帯		
		準半壊	世帯		
		計	世帯		
(12)	生業に必要な資金の貸与費	世帯			
(13)	学用品の給与	小学校児童	教科書	人	
			文房具等	人	
		中学校生徒	教科書	人	
			文房具等	人	
			計	人	
(14)	埋葬費	大	人	体	
		小	人	体	
	計		体		
(15)	死体の捜索費	体			
(16)	死体の処理費	洗浄、縫合、消毒等	体		
		一時保存	体		
		検案	体		
	計	体			
(17)	障害物の除去費	世帯			
(18)	おそれる段階における輸送費				
(19)	輸送費				
(20)	おそれる段階における賃金職員等雇上費	人			
(21)	賃金職員等雇上費	人			
2	実費弁償	人			
3	扶助	件			
4	損失補償	件			
5	法第19条の補償				
II 救助事務に要した経費					
1	都道府県事務費				
2	市町村事務費				
3	法第20条第1項の求償に係る事務費				
III 災害ボランティアセンターの設置・運営に係る委託費					
(合計)					

概況	災害救助基金現在高 (令和 年 4月 1日)	A		備考
			円	
	当該年度における災害救助基金最少額	B		
			円	
	差引過△不足額	A - B = C		
		円		
況	当該年度要積立額	D		
			円	
況	当該年度積立予定額	E		
			円	
災害救助基金運用状況 (災害救助基金現在高内訳)	法第26条第1号の方法			
			円	
	同条第2号の方法			
			円	
	同条第3号の方法			
			円	
	計			
			円	
前年度決算状況	災害救助基金現在高 (令和 年 4月 1日)	F		
			円	
	災害救助基金最少額	G		
			円	
	差引過△不足額 (F - G)	H		
			円	
	要積立額	I		
			円	
	積立額	J		
			円	
支出額	K			
		円		
応急仮設住宅払下収入金	基金繰入額		円	
			円	
	その他		円	
			円	
生業資金返還額	基金繰入額		円	
			円	
	その他		円	
			円	

(注)「前年度決算状況」の各欄のうち、額が確定していないものについては見込額とすること。

様式3-1

おそれ段階における避難所設置及び避難生活状況

避難所の名称	種別	開設期間 月 日 ~ 月 日	延人員 人	市町村名		伊勢市	
				物品使用状況		実支出額	備考
				品名	数量		
計							

- (注) 1 「種別」欄は、避難所、福祉避難所、ホテル・旅館等、その他の施設の別に記入すること。
 2 その他の施設とは、在宅避難、車中泊などの避難所、福祉避難所、ホテル・旅館などに該当しないものである。
 3 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別、使用数量を記入すること。
 4 「備考」欄は、別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

応急仮設住宅台帳(その2)
(建設型応急住宅)

市町村名	整理番号	地区・住宅(団地)名	区分				着工戸数	完成戸数	集会所		着工日	完成予定日	着工公表日	リース購入の別	概算額			自治体名		伊勢市					
			構造	基礎	仕様	敷地			集会所	談話室					税込総額(円) (リースの場合は解体費用等含む)	うち、集会所施設 (税込み、円) (設置費用、リースは解体費用等含む)	1戸あたりの平均価格(円)	民有地等借地料 (年額(円))	完成日	入居日	入居状況		解消日		
																					世帯数	入居人数			
〇〇市	1	例)〇〇総合運動公園住宅(団地)	モバイル	コンクリート板	手すり、スロープ	公有地	50	50	1		〇月〇日	△月△日	〇月×日	リース	291,414,000	5,714,000	5,714,000	0	△月△日	△月〇日	48	144			
	2	例)〇〇町仮設住宅	木造	布基礎		民地(有償)	20	20		1	〇月〇日	△月△日	〇月×日	購入	105,000,000	5,000,000	5,000,000	12,000,000	△月△日	△月〇日	19	38			
	3																								
	4																								
	5																								
			計																						
	1																								
	2																								
	3																								
	4																								
	5																								
			計																						
	1																								
	2																								
	3																								
	4																								
	5																								
			計																						
	1																								
	2																								
	3																								
	4																								
	5																								
			計																						
	1																								
	2																								
	3																								
	4																								
	5																								
			計																						
		合計																							

(注)1 「地区・住宅(団地)名」欄は、応急仮設住宅の住宅(団地)名を記入すること。
 2 「構造区分」欄は、「木造」、「プレハブ」、「ムービング」、「トレーラー」住宅等の別を記入すること。
 3 「基礎区分」欄は、「木杭」、「コンクリート板」、「ブロック敷」、「布基礎」、「べた基礎」住宅等の別を記入すること。
 4 「仕様等」欄は、福祉仮設住宅やバリアフリー住宅等、入居者に配慮した設備の内容がわかるように記入すること。
 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにすること。
 6 「集会所」欄は、集会所又は談話室の設置戸数を記入すること。なお、設置していない場合は「-」を記入すること。
 7 「リース購入の別」欄は、「リース」又は「購入」を記入すること。
 8 「総額」欄は、団地別に建設に要した総額(リースの場合は解体費用等を含む)を記入すること。なお、集会所施設の費用も合算して記入すること。
 9 「うち、集会所施設」欄は、団地別に建設した集会所施設に要した金額(リースの場合は解体費用等を含む)を記入すること。
 10 「1戸あたりの平均価格」欄は、総額から集会所施設を差し引いた金額を戸数で除して出た金額を記入すること。
 11 「民有地等借地料(年額)」欄は、応急仮設住宅の建設のために借上げた地代について、年額を記入すること。
 12 「入居日」欄は、応急仮設住宅の鍵の受渡しを開始した日を記入すること。
 13 「世帯数」「入居人数」欄は、実際に応急仮設住宅に入居した世帯数と人数を記入すること。(原則、1世帯1室であるが、被災前に2世帯住宅に入居していた場合は、2世帯として差し支えない。)
 14 「解消日」欄は、応急仮設住宅から全ての入居者が退去した日を記入すること。
 15 本様式とともに、応急仮設住宅に係る「位置図」、「配置図」、「平面図」、「仕様書」及び「見積書」も提出すること。

様式6

飲料水の供給簿

供給対象箇所の名称	供給期間 月 日～ 月 日	市町村名	伊勢市
		実支出額	備考
		円	
計			

(注) 「備考」欄は、別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

被服、寝具その他生活必需品の給与状況

番号	住家被害程度区分	世帯主 氏名	基礎と なった世 帯構成人 員	給与月日	物資給与の品名								市町村名	伊勢市	
					被服	寝具	衛生用品	台所用品	掃除用品	洗濯用品	防寒対策 用品	熱中症 対策用品	実支出額	備考	
				人 月 日										円	
計	全壊 半壊	世帯 世帯													

- (注) 1 住家の被害程度に、全壊（焼）流失又は半壊（焼）床上浸水の別を記入すること。
 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。
 3 「物資給与の品名」欄は、実際に給与した物品名を品名として記載し、各給与数を記入すること。
 ただし、各個人の支給申請書が別にある場合は、給与数を記入することで差し支えない。
 4 「備考」欄は、別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

救護班活動状況

救護班

班長： 医師（氏名）

月日	市(区)町村名	品目	措置の概要	経費 円	備考
計				円	

(注) 「備考」欄に班の編成、活動期間を記入すること。

病院診療所医療実施状況

診療 機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病名	診療区分		診療報酬		市町村名	伊勢市	
				入院	通院	入院 点	通院 点	金額	備考	
計 機関	人									

(注) 「診療区分」欄は該当欄に○印を記入すること。

被災者救出状況記録簿

年月日 月 日	救出用機械器具等		市町村名	伊勢市
	機械器具等名称	数 量	金 額	備考
			円	
計				

- (注)1 備考欄には使用した機械器具の使用用途概略を記載すること。
 2 他市町村に及んだ場合には、備考欄にその市町村名を記入すること。

福祉チームの活動状況(福祉避難所の設置以外)

福祉チーム
班長: (氏名)

月日	市(区)町村名	消耗機材又は器物の品目	措置の概要	経費 円	備考
計				円	

(注)「備考」欄にチームの編成、活動期間を記入すること。

福祉チームの活動状況(福祉避難所の設置)

福祉チーム
班長： (氏名)

月日	市(区)町村名	消耗機材、建物の使用謝金、器物の使用謝金、借上費若しくは購入費、光熱水費、仮設便所等の設置	措置の概要	経費 円	備考
計				円	

(注) 「備考」欄にチームの編成、活動期間を記入すること。

住家の被害の拡大を防止するための緊急の修理(ブルーシートの展張等)記録簿

整理番号	世帯主氏名	判断基準に基づく被害区分	実施月日	自治体から被災者に給与する資材の数量				① 自治体から被災者に資材の提供をする場合の費用 (上限2万円)	② 施工業者が資材費、労務費及び施工に係る事務費等一切の請負場合の費用 (上限5万円)	③ 施工業者が修理する場合の労務費のみの場合 (上限3万円) (資材は自治体から提供を受ける場合の費用に記載)	市町村名	伊勢市	
				ブルーシート (#3000又はこれに準ずる耐候性を有する製品)	土のう袋 (UVブラック土嚢又はこれに準ずる耐候性を有する製品)	ビニールハウスロープ (マイカ線又はこれに準ずる耐久性等を有する製品)	防水テープ (エースクロス011又はこれと同等の粘着性能を有する製品)				円	円	円
				枚数	枚数	巻数	巻数				自力又はボランティアによる施工に記載	建設団体企業等による施工に記載	
			月 日										
	計 世帯												

(注)1 実施に際し、複数の業者が施工した場合にはその旨を備考欄に記入すること。

日常生活に必要な最小限度の部分の修理(住宅の応急修理)記録簿

整理番号	世帯主氏名	被害区分	応急修理期間 月 日～ 月 日	応急修理実施業者名	市町村名	伊勢市
					実支出額	摘要
					円	
	計 世帯					

(注)1 実施に際し、複数の業者が施工した場合にはその旨を備考欄に記入すること。

生業資金貸付台帳

					市町村名	伊勢市		
貸付を受けた者		保証人			事業計画概要	貸与期間	貸与金額	備考
住所	氏名	住所	氏名	職業				
							円	
計 世帯								

(注)1 「貸与期間」欄は「 年 月 日まで 年 月間」を記入すること。
 2 「備考」欄は、償還状況等のてん末を明らかにしておくこと。

学用品の給与状況

学校名	学年	児童(生徒)氏名	親権者氏名	給与月日	給与品の内訳											実支出額	備考
					教科書					その他学用品(水に浸かったら使用不能なもの等)							
					国語	算数	理科	社会	その他	サインペン	ノート	スケッチブック	半紙、フエルト	その他			
小学校		人															
中学校		人															
高校		人															

- (注) 1 当該様式は、小学校、中学校、高等学校等教育機関の別に作成すること。
 2 支給する学用品の品目については、教科書、文房具、通学用品、その他の学用品の範囲で個々の実情に応じて給与するものである。
 3 給与月日欄は、その児童(生徒)に対して最後に給与した給与年月日を記入する。
 4 給与品の内訳欄には、数量を記入し、備考欄には別に作成する領収書等支払資料の整理番号を記載する。

埋葬台帳

		死亡者		埋葬を行った者		埋葬者			市町村名	伊勢市	備考
死亡年月日	埋葬年月日	氏名	年齢	死亡者との関係	氏名	棺(附属品を含む)	埋葬又は火葬料	骨箱	計		
						円	円	円	円		
計											

- (注) 1 埋葬を行った者が市(区)町村長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。
 2 市(区)町村長が棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。
 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

死体処理台帳

処理年月日	死体発見の日時及び場所	死亡者氏名	遺族		洗浄等の処理			死体の一時保存	市町村名	伊勢市	
			氏名	死亡者との関係	品名	数量	金額		検案料	実支出額	備考
							円	円	円	円	
計		人									

障害物除去の状況

整理番号	住家被害程度区分	除去に要した期間 月 日～ 月 日	市町村名	伊勢市	
			実支出額 円	除去に要すべき 状態の概要	備考
計	半壊(焼)	世帯			
	床上浸水	世帯			

(注)1 除去に際し、複数の業者が施工した場合はその旨を備考欄に記入すること。

おそれ段階における輸送記録簿

輸送 月日	目的	輸送 区間 (距離)	借上等		金額	故障車両等		修繕			市町村名	伊勢市		
			使用車両等			名称	番号	所有者氏名	修繕 月日	修繕 費	故障の 概要	燃料費	実支 出額	備考
			種類	台数										
月 日					円						円	円		
計														

- (注) 1 「目的」欄は主たる目的(又は救助の種類名)を記入すること。
 2 県又は市町の車両による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償無償を問わず記入すること。
 4 借上等に「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。

おそれ段階における賃金職員雇上台帳

自治体名		担当部局		担当者名		電話番号						
伊勢市												
従事した救助	氏名	雇上期間	日当			時間外勤務手当			手当	移動旅費	支給額	備考
			日数	単価	合計	時間	単価	合計				
例) 応急修理 窓口対応	〇〇〇〇〇	R1.10.1から R1.11.30まで	61	9,300	567,300	40	1,300	52,000	900	5,000	625,200	手当は、〇〇手当
計	〇人											

賃金職員雇上台帳(おそれ段階における賃金職員雇上費を除く)

自治体名		担当部局		担当者名		電話番号						
伊勢市												
従事した救助	氏名	雇上期間	日当			時間外勤務手当			手当	移動旅費	支給額	備考
			日数	単価	合計	時間	単価	合計				
例) 応急修理 窓口対応	〇〇〇〇〇	R1.10.1から R1.11.30まで	61	9,300	567,300	40	1,300	52,000	900	5,000	625,200	手当は、〇〇手当
計	〇人											

(実費弁償)

様式20

(1) 令第4条第1号から第5号までに規定する者の従事状況

職種	従業員数		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額				市町村名	伊勢市	備考
	実人員	延人員			日当	旅費	時間外勤務手当	計	算定基準による算定額		
									円	円	
・医師 ・歯科医師 ・薬剤師	人	人			円	円	円	円	円		
・栄養士 ・管理栄養士 ・保健師 ・助産師 ・看護師 ・准看護師											
・診療放射線技師 ・臨床検査技師 ・理学療法士 ・作業療法士 ・臨床工学技士 ・救急救命士 ・言語聴覚士 ・歯科衛生士又は 歯科技工士											
・保育士 ・社会福祉士 ・介護福祉士 ・介護支援専門員 ・精神保健福祉士 ・相談支援専門員 又は 公認心理師											
・土木技術者 ・建築技術者											
・大工 ・左官又はとび職											
計											

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式21

(2) 令第4条第6号から第11号までに規定する者の従事状況

業者		従事者		従事場所(市町村)	従事期間	実支出額	備考
業種	数	実人員	延人員				
土木又は建築業者 及び これらの者の従業者		人	人			円	
鉄道事業者 及びその従業者							
軌道経営者 及びその従業者							
自動車運送事業者 及びその従業者							
船舶運送業者 及びその従業者							
港湾運送業者 及びその従業者							
計							

(注) 「備考」欄には、従事者が従事した業務の内容について記入すること。

様式22

(3) 扶助金の支給状況

扶助金種類	件数	実支出額	積算基礎	備考
		円		
計				

- (注) 1 「積算基礎」欄には支給基礎額及び支給額の積算基礎等を記入すること。
- 2 「備考」欄には、扶助金の支給を必要とした原因等の概要を記入すること。

様式23

(4) 損失補償費の状況

種類	実支出額	積算基礎	備考
計	0		

- (注) 1 「種類」欄には、法第5条の管理、使用、保管および収容の別に区分して記入すること。
 2 「基礎積算」欄には、損失補償の額の積算基礎を記入すること。
 3 「備考」欄には、損失補償の概要を記入すること。

法第19条の補償費の状況

区 分	実 支 出 額			備 考
	員 数	単 価	金 額	
1 人 件 費		円	円	
(1) 旅 費				
(2) 役 務 費				
(3) 時 間 外 勤 務 手 当 及 び 深 夜 手 当				
2 救 護 所 設 置 費				
(1) 救 護 器 材 費				
(2) 消 耗 器 材 費				
(3) 借 上 料 損 料				
3 救 護 諸 費				
(1) 薬 剤				
(2) 治 療 材 料				
(3) 医 療 器 具 破 損 料				
(4) 衛 生 材 料				
(5) 死 体 の 処 理 費				
(6) そ の 他				
4 輸 送 費				
5 賃 金 職 員 等 雇 上 費				
6 そ の 他 の 費 用				
7 扶 助 金				
(1) 療 養 扶 助 金				
(2) 休 業 扶 助 金				
(3) 障 害 扶 助 金				
(4) 遺 族 扶 助 金				
(5) 葬 祭 扶 助 金				
(6) 打 切 扶 助 金				
8 事 務 費				
(1) 消 耗 品 費				
(2) 通 信 運 搬 費				
(3) そ の 他				
計				

(注) 「区分」の欄には、適宜必要な欄を設けて費目別に記入すること。

救助の種類		救助の種類に応じた必要書類		救助に際し、必要となる証拠書類等
救助の種類	様式番号	様式名	救助に必要な書類	救助に際し、必要となる証拠書類等
避難所の設置	様式3	避難所設置及び避難生活状況	ア 避難者名簿 イ 救助実施記録日計票 ウ 避難所用物資受払簿 エ 避難所設置及び避難生活状況 オ 避難所設置に要した支払証拠書類 カ 避難所設置に要した物品受払証拠書類	・避難所ごとの避難者名簿(入退所日時・世帯数が分かるもの、広域自治体除く) ・避難所用物資受払簿、請求書・納品書・領収書・契約書・支出命令書・積算の根拠資料など購入実績、金額等が確認できる書類(備蓄物資は購入時のもの、評価額が異なる場合は評価額書)
応急仮設住宅	様式4	応急仮設住宅台帳 (建設型応急住宅) (賃貸型応急住宅)	ア 救助実施記録日計票 イ 応急仮設住宅台帳 ウ 応急仮設住宅用地賃借契約書 エ 応急仮設住宅使用賃借契約書 オ 応急仮設住宅建築に係る原材料購入契約書、工事契約書、その他設計書、仕様書等 カ 応急仮設住宅建築に係る工事代金等支払証拠書類	・工事に係る工程表、所在地図、配置図、仕様書、見積書 ・施工前(原状復帰時に必要になる) ・設置時及び解体時の施工中及び施工後の写真(工事報告) ・救助実施記録日計票(日々の入居状況の整理) ・住まいの確保状況調査(日々報告)
炊き出しの給与	様式5	炊き出し給与状況	ア 救助実施記録日計票 イ 炊き出しその他による食品給与物品受払簿 ウ 炊き出し給与状況 エ 炊き出しその他による食品給与のための食料購入代金等支払証拠書類 オ 炊き出しその他による食品給与のための物品受払証拠書類	・炊出し受払簿(日毎の給与数が分かるもの、広域自治体除く) ・請求書・納品書・領収書・契約書・支出命令書・積算の根拠資料など購入実績、金額等が確認できる書類 (備蓄物資は購入時のもの、評価額が異なる場合は評価額書)
飲料水の供給	様式6	飲料水の供給簿	ア 救助実施記録日計票 イ 給用水用機燃料費及び浄水用薬品資材受払簿 ウ 飲料水の供給簿 エ 飲料水供給のための支払証拠書類	・請求書・納品書・領収書・契約書・支出命令書・積算の根拠資料など実績、金額等が確認できる書類 (備蓄物資は購入時のもの、評価額が異なる場合は評価額書)
被服・寝具、生活必需品給与又は貸与	様式7	被服、寝具その他生活必需品の給与状況	ア 救助実施記録日計票 イ 物資受払簿 ウ 物資の給与状況 エ 物資購入関係支払証拠書類 オ 備蓄物資支出証拠書類 カ (注)による物資と被服物資は実際上も書類上も明確に区分しておくこと。	・申込書(=被災者の被害の程度(全壊・半壊、床上浸水及び必要な物品を確認した書類)) ・請求書・納品書・領収書・契約書・支出命令書等
医療	様式8	救護班活動状況	ア 救護班 (1)救助実施記録日計票 (2)医薬品衛生材料受払簿 (3)救護班活動状況 イ 都道府県又は委任を受けた市町村	・活動実績が確認できる書類 ・協定書、費用支出要綱など ・請求書・納品書・領収書・契約書・支出命令書・積算の根拠資料など購入実績、金額等が確認できる書類
	様式9	病院診療所医療実施状況	(1)救助実施記録日計票 (2)医薬品衛生材料受払簿 (3)救護班活動状況(写) (4)病院、診療所医療実施状況及び診療報酬に関する証拠書類 (5)医薬品衛生材料等購入関係支払証拠書類	
助産	様式10	助産台帳	ア 救助実施記録日計票 イ 衛生材料等受払簿 ウ 助産台帳 エ 助産関係支出証拠書類 (注)救護班が助産を行った場合は、助産台帳とは別に、救護班活動状況にも明らかにしておくこと。	略
被災者の救出、死体の捜索	様式11	被災者救出状況記録簿	〔被災者の救出〕 ア 救助実施記録日計票 イ 被災者救出用機燃料費受払簿 ウ 被災者救出状況記録簿 エ 被災者救出関係支払証拠書類 〔死体の捜索〕 ア 救助実施記録日計票 イ 捜索用機燃料費受払簿 ウ 死体の捜索状況記録簿 エ 死体捜索関係支払証拠書類	略
福祉サービスの提供	様式12	福祉チームの活動状況 福祉避難所の設置状況	ア 福祉チームの活動状況 イ 福祉サービスの提供のための支払い証拠書類	略
住宅の応急修理	様式13	住宅応急修理記録簿	〔ア〕救助実施記録日計票 (イ)住宅の応急修理記録簿 (ウ)住宅の応急修理のための契約書、仕様書等 (エ)住宅の応急修理関係支払証拠書類	①応急修理申込書 (資力に係る申出書、応急修理申込チェックシート含む) ②以災証明書 ③修理見積書 ④修理依頼書(市町村一乗者宛) ⑤応急修理決定通知書(市町村一被災者宛) ⑥工事完了報告書 ⑦修理前、修理中及び修理後の写真(カラー) ⑧支払いをした伝票の写し
生業に必要な資金の貸与	様式14	生業資金貸付台帳	現在では、この生業資金の貸与制度は運用されていない。	略
学用品の給与	様式15	学用品の給与状況	ア 救助実施記録日計票 イ 学用品の給与状況 ウ 学用品購入関係支払証拠書類 エ 備蓄物資支出証拠書類	以災証明書、 学用品の支払い根拠資料(請求書、納品書等)
埋葬及び死体の処理	様式16	埋葬台帳	〔埋葬〕 ア 救助実施記録日計票 イ 埋葬台帳 ウ 埋葬費支出関係証拠書類	略
	様式17	死体処理台帳	〔死体の処理〕 ア 救助実施記録日計票 イ 死体処理台帳 ウ 死体処理費支出関係証拠書類	
障害物の除去	様式18	障害物除去の状況	ア 救助実施記録日計票 イ 障害物除去の状況 ウ 障害物除去支出関係証拠書類	障害物の除去申請書類、 以災証明書、 請求書・請求書・支払い根拠書類、 除去前、除去中及び除去後の写真(カラー)
輸送	様式19①	輸送記録簿		請求書・領収書・契約書・支出命令書・積算の根拠資料など実績、金額等が確認できる書類
賃金払い上げ	様式19②	賃金職員雇上台帳		・活動実績が確認できる書類 ・協定書、費用支出要綱など ・請求書・領収書・契約書・支出命令書・積算の根拠資料など実績、金額等が確認できる書類
従事命令関係	様式20	(1)令第4条第1号から第4号までに規定する者の従事状況	① 医師及び歯科医師 ② 薬剤師 ③ 保健師、助産師及び看護師 ④ 土木技術者及び建築技術者 ⑤ 大工、左官及びとび職	略
従事命令関係	様式21	(2)令第4条第5号から第10号までに規定する者の従事状況	① 土木建築業者 ② 地方鉄道業者 ③ 軌道経営者 ④ 自動車運送事業者 ⑤ 船舶運送業者 ⑥ 港湾運送業者	略
従事命令関係	様式22	扶助金の支給状況	療養扶助金、休業扶助金、障害扶助金、遺族扶助金、葬祭扶助金及び打切扶助金	略
従事命令関係	様式23	(4)損失補償費の状況	救助に必要な物資の生産等を業とする者に対して、その物資の保管を命じ、又は救助に必要な物資を収用(取り上げて使う)することができるが、その物資の処分を行う場合においては、損失を補償しなければならない。	略
委託費用の補償	様式24	法第19条の補償費の状況	日本赤十字社が支弁した費用に対し、その費用のための寄付金その他収入を控除した額を補償する。	略

参考資料2

救助事務費算出表

(単位:円)

救助費総額	区分	対象金額	対象金額	補助率	負担額
	3千万円以下			10%	
	3千万円超え6千万円以下			9%	
	6千万円超え1億円以下			8%	
	1億円超え2億円以下			7%	
	2億円超え3億円以下			6%	
	3億円超え5億円以下			5%	
	5億円超え			4%	
				救助事務費限度額	3,000,000

↑ 救助費総額を入力すること。

※ 救助費総額が3,000万円以下は救助費総額に負担率10%を乗じて算出すること。

様式25①

救助事務費の状況

		自治体名	伊勢市
費 目	実 支 出 額		備 考
		円	
職 員 手 当			
時 間 外 勤 務 手 当			
賃 金			
旅 費			
需 用 費			
消 耗 品 費			
燃 料 費			
印 刷 製 本 費			
光 熱 水 費			
修 繕 費			
食 糧 費			
役 務 費			
通 信 運 搬 費			
使 用 料 及 び 賃 借 料			
計			

(注)1 本表に掲げる金額は、災害救助に直接必要と認め支出されたものに限る。災害対策や復旧関係の経費は認めないこと。

2 「備考」欄は、実支出額の内容を記入すること。

救助事務費調査票

自治体名		担当部署	担当者名	電話番号
伊勢市				
具体的な内容		金額	備考	
(7)時間外(休日、夜間含)勤務手当		超過勤務時間	0	
内訳	避難所の設置・運営	時間	様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
	支援物資の荷捌き・搬送	時間	様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
	飲料水の供給	時間	様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
	医療	時間	様式25④ 救護班活動状況(総括表)、 様式25⑤ 同(国公立病院・日赤勤務者) 様式25⑥ 同(国公立病院・日赤以外勤務者) 様式25⑦ DMAT活動時間調査票 及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
	福祉サービスの提供	時間	様式25⑧ 福祉チーム活動状況(総括表)、 様式25⑨ 同(国の機関に準じる機関に勤務する者) 様式25⑩ 同(国の機関に準じる機関以外の勤務者) 様式25⑪ DWAT活動時間調査票 及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
	その他	時間	様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
(4)旅費		0		
内訳	避難所の設置・運営		様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「旅費請求書・旅行命令簿、請求書、領収書」等の写し	
	支援物資の荷捌き・搬送		様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「旅費請求書・旅行命令簿、請求書、領収書」等の写し	
	飲料水の供給		様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「旅費請求書・旅行命令簿、請求書、領収書」等の写し	
	医療		様式25④ 救護班活動状況(総括表)、 様式25⑤ 同(国公立病院・日赤勤務者) 様式25⑥ 同(国公立病院・日赤以外勤務者) 様式25⑦ DMAT活動時間調査票 及び証拠書類となる「旅費請求書・旅行命令簿、請求書、領収書」等の写し	
	福祉サービスの提供		様式25⑧ 福祉チーム活動状況(総括表)、 様式25⑨ 同(国の機関に準じる機関に勤務する者) 様式25⑩ 同(国の機関に準じる機関以外の勤務者) 様式25⑪ DWAT活動時間調査票 及び証拠書類となる「勤務時間報告書」等の写し	
	その他		様式25③ 時間外(休日、夜間含)勤務手当、旅費明細書及び証拠書類となる「旅費請求書・旅行命令簿、請求書、領収書」等の写し	
(9)消耗品費		0		
内訳	医療		様式25④ 救護班活動状況(総括表)、 様式25⑤ 同(国公立病院・日赤勤務者) 様式25⑥ 同(国公立病院・日赤以外勤務者) 及び証拠書類となる「請求書、領収書」等の写し (必要に応じて購入・借上理由書などの会計資料の添付の写し)	
	福祉サービスの提供		様式25⑧ 福祉チーム活動状況(総括表)、 様式25⑨ 同(国の機関に準じる機関に勤務する者) 様式25⑩ 同(国の機関に準じる機関以外の勤務者) 及び証拠書類となる「請求書、領収書」等の写し (必要に応じて購入・借上理由書などの会計資料の添付の写し)	
	その他		様式25⑫ 救助事務費明細書(その他費用) 及び証拠書類一式(必要に応じて購入・借上理由書などの会計資料の添付の写し)	
(5)燃料費		0		
内訳	医療		様式25④ 救護班活動状況(総括表)、 様式25⑤ 同(国公立病院・日赤勤務者) 様式25⑥ 同(国公立病院・日赤以外勤務者) 及び証拠書類となる「請求書、領収書」等の写し	
	福祉サービスの提供		様式25⑧ 福祉チーム活動状況(総括表)、 様式25⑨ 同(国の機関に準じる機関に勤務する者) 様式25⑩ 同(国の機関に準じる機関以外の勤務者)及び証拠書類となる「請求書、領収書」等の写し	
	その他		様式25⑫ 救助事務費明細書(その他費用) 及び証拠書類の写し	
(6)食糧費		0		
内訳	医療		様式25④ 救護班活動状況(総括表)、 様式25⑤ 同(国公立病院・日赤勤務者) 様式25⑥ 同(国公立病院・日赤以外勤務者) 及び証拠書類となる「請求書、領収書」等の写し	
	福祉サービスの提供		様式25⑧ 福祉チーム活動状況(総括表)、 様式25⑨ 同(国の機関に準じる機関に勤務する者) 様式25⑩ 同(国の機関に準じる機関以外の勤務者)及び証拠書類となる「請求書、領収書」等の写し	
	その他		様式25⑫ 救助事務費明細書(その他費用) 及び証拠書類一式(飲酒費用が計上されている場合は救助費の対象外)	
(8)使用料及び賃借料		様式25⑫ 救助事務費明細書(その他費用) 及び証拠書類一式(目的、期間、運転日報など明確な資料を併せて添付)		
(7)通信運搬費		様式25⑫ 救助事務費明細書(その他費用) 及び証拠書類一式(目的、期間など明確な資料を併せて添付)		
(9)その他の経費() ※()内に具体的な経費の種類を記載し、明細書を作成ください。		様式25⑫ 救助事務費明細書(その他費用) 及び証拠書類一式(目的、期間など明確な資料を併せて添付)		
合計		0		

様式25③

救助事務費(時間外(休日, 夜間含)勤務手当、旅費明細書)

勤務の内容								自治体名	伊勢市	
氏名	勤務年月日	勤務の内容	勤務場所 (搬送先の名称)	時間外勤務				旅費(円)	証拠書 No.	
				開始時間	終業時間	勤務時間(h)	金額(円)			
例)	RO.O.O	避難所の運営及び被災者支援	〇〇小学校	18:00	20:00	2:00	5,000	200	No.①	
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
						0:00				
合計										

機関名	支援先	
実施期間	日数	延人数

1. 医療

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(ア)薬剤費等			0	※医療に計上
・医薬品, 治療材料			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・医療機器の修繕費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				

2. 救助事務費

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(イ)職員手当			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・時間外勤務手当			0	内訳は職種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
(ウ)旅費等			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・旅費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・宿泊費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
(エ)需用費			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・消耗品費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・燃料費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・食糧費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				

※ 人数は延べ人数。
 ※ 別途、積算根拠の分かる資料を添付すること。
 ※ 「1. 医療」の合計額は「様式9 病院診療所医療実施状況」に計上すること。
 ※ 「2. 救助事務費」は「様式25 救助事務費」に各項目ごとに同額を記載し、救助事務費として計上すること。

機関名	支援先	
実施期間	日数	延人数

1. 医療

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(ア)薬剤費等			0	※医療に計上
・医薬品, 治療材料			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
・医療機器の修繕費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				

2. 応急救助の賃金雇上

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(イ)賃金職員雇上費			0	
・日当(時間外勤務手当含む)			0	内訳は職種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
(ウ)旅費等			0	
・旅費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
・宿泊費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
(エ)需用費			0	
・消耗品費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
・燃料費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
・食糧費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
内訳				
内訳				
合計			0	※賃金職員雇上台帳に計上

※ 人数は延べ人数。
 ※ 別途、積算根拠の分かる資料を添付すること。
 ※ 「1. 医療」の合計額は、「様式9 病院診療所医療実施状況」に計上すること。
 ※ 「2. 応急救助の賃金雇上」の合計額は、「様式19② 賃金職員雇上台帳」として計上すること。

様式25⑦

救助事務費(DMAT(DPAT)活動時間調査票)

※ 留意事項

- 応急的な救護活動に要した実際の時間を記入し、待機時間等は除いてください。
- 調査票は、活動者毎、活動日別に記入してください。
- 活動記録等と調査票の内容が一致しているか確認をお願いします。

職種:	氏名:							
活動月日	活動概要	勤務命令時間	時間数	日当	時間外勤務手当	旅費	宿泊費等	備考
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
合計			0:00	0	0	0	0	

救助事務費(福祉チーム活動状況(総括表))

				自治体名	伊勢市		
機関名	種別	費用計上をする項目					
		福祉サービスの提供	応急救助の賃金雇上	救助事務費			
				旅費	消耗品費	燃料費	食糧費
合計		0	0	0	0	0	0

※ 実施期間ごとの経費を転記すること。
 ※ 救助事務費については、各項目を「様式25 救助事務費」に同額を転記すること。
 ※ 食糧費は、旅費の日当・宿泊費に含まれていない場合のみ経費を記載すること。

機関名	支援先	
実施期間	日数	延人数

1. 福祉サービスの提供

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(ア)消耗機材費等			0	※医療に計上
・消耗機材費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・建物の使用謝金			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・器物の使用謝金、借上費、購入費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・光熱水費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・仮設便所等の設置費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				

2. 救助事務費

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(イ)職員手当			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・時間外勤務手当			0	内訳は職種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
(ウ)旅費等			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・旅費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・宿泊費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
(エ)需用費			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・消耗品費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・燃料費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・食糧費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				

- ※ 人数は延べ人数。
- ※ 別途、積算根拠の分かる資料を添付すること。
- ※ 「1. 福祉サービスの提供」の合計額は「様式12 福祉チームの活動状況」に計上すること。
- ※ 「2. 救助事務費」は「様式25 救助事務費」に各項目ごとに同額を記載し、救助事務費として計上すること。

機関名	支援先	
実施期間	日数	延人数

1. 福祉サービスの提供

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(ア)消耗機材費等			0	※医療に計上
・消耗機材費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・建物の使用謝金			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・器物のの使用謝金、借上費、購入費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・光熱水費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・仮設便所等の設置費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				

2. 応急救助の賃金雇上

内容	数量	単位	金額(円)	備考
(イ)職員手当			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・時間外勤務手当			0	内訳は職種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
(ウ)旅費等			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・旅費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・宿泊費			0	内訳は交通機関別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
(エ)需用費			0	※救助事務費に計上(様式25に同額を記載)
・消耗品費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・燃料費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				
・食糧費			0	内訳は品種別に記載。備考欄には単価・数量など積算根拠を記載。
内訳				

- ※ 人数は延べ人数。
- ※ 別途、積算根拠の分かる資料を添付すること。
- ※ 「1. 福祉サービスの提供」の合計額は「様式12 福祉チームの活動状況」に計上すること。
- ※ 「2. 応急救助の賃金雇上」の合計額は、「様式19② 賃金職員雇上台帳」として計上すること。

様式25①

救助事務費(DWAT活動時間調査票)

※ 留意事項

- 応急的な救護活動に要した実際の時間を記入し、待機時間等は除いてください。
- 調査票は、活動者毎、活動日別に記入してください。
- 活動記録等と調査票の内容が一致しているか確認をお願いします。

職種:	氏名:							
活動月日	活動概要	勤務命令時間	時間数	日当	時間外勤務手当	旅費	宿泊費等	備考
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
月 日		~	0:00					
合計			0:00	0	0	0	0	

